

このばしめでいおせんたー
公募型利用制度

利用負担金

免除!

サイバーメディアセンターが
全額負担いたします

大規模計算機システム

公募型

利用制度募集

概要と応募資格

本センターが設置する大規模計算機システム公募型利用制度は今後の発展が見込まれる萌芽的な研究課題を対象とする①若手・女性研究者支援萌芽枠、大規模計算機システムを最大限活用することで成果が見込まれる研究課題を対象とする②大規模HPC支援枠、大規模な計算能力を必要とする人工知能分野の研究課題を対象とする③人工知能研究支援枠（2023年度から常設枠として設置）から構成されます。

また、2023年度は、わが国の学術研究を担う次世代の研究者育成の観点から、本センター大規模計算機システムの利用資格を有する、一人又は比較の少数の学生が学位取得（修士、博士）を目標として行う研究課題を対象とする④世界と伍する学生育成特設枠を設置します。本特設枠では、理科系、文化系などの研究分野を問うことなく、全ての学術研究分野を対象とし、大規模計算機システムを活用する研究課題を幅広く募集します。

◆ 支援内容

1

研究課題推進のための大規模計算機システム利用負担金の全額を本センターが負担します。

2

研究課題推進のために本センターの施設（会議室等）を利用できます。

3

大規模HPC支援枠採択課題については、希望により本センターからのプログラムチューニング支援を提供します。

4

本センターで開催する本公募型利用制度の成果報告会の旅費を全額補助します。

応募方法及び期間

11月14日(月)～12月16日(金)

課題申請書に必要事項を記入のうえ、以下の送付先までメールにて送信してください。
課題申請書は、下記URL、または右記QRコードからダウンロードしてください。

課題申請書ダウンロードURL

<http://osku.jp/k0242>

■募集開始：2022年11月14日(月) ■募集締切：2022年12月16日(金) (必着)

■審査結果：2023年2月下旬に結果を通知予定です。

■送付先・お問合せ先：大阪大学情報推進部情報基盤課研究系システム班
大規模計算機システム担当 E-mail: system@cmc.osaka-u.ac.jp



申込詳細など

大規模計算機システム 公募型利用制度

検索

若手・女性研究者支援萌芽枠

大規模HPC支援枠

人工知能研究支援枠

世界と伍する学生育成特設枠

2023年度 大規模計算機システム 公募型 利用制度募集

応募枠について



① 若手・女性研究者支援萌芽枠

研究代表者が42歳以下(2023年4月1日時点)の若手男性研究者、あるいは、女性研究者(年齢制限を設けない)であること。ただし、学生を除く。



② 大規模HPC支援枠

既に並列化済みのプログラムを持ち、並列度を上げて実行する計画があること。



③ 人工知能研究支援枠

研究分野を問わず、人工知能技術を活用するプログラムを持ち、大規模計算機システム上で実行する計画があること。(例えば、ディープラーニングを用いた物質設計等のマテリアルサイエンス、機械学習を活用した化合物探索等のバイオインフォマティクス、大規模な統計処理を行う人文・社会科学、大規模計算機・大規模データによるデータ分析手法を取り扱う情報工学等、研究分野を問わず幅広く募集します。)



④ 世界と伍する学生育成特設枠

課題代表者及び課題参加者が学生であること。一人又は比較的少数の学生が学位取得(修士、博士)を目標として行う、大規模計算機システムを利用する研究課題であること。

募集課題数



- ① 若手・女性研究者支援萌芽枠 / 1~5 課題
- ② 大規模HPC支援枠 / 1~4 課題
- ③ 人工知能研究支援枠 / 1~3 課題
- ④ 世界と伍する学生育成特設枠 / 1~5 課題

課題審査

応募された課題申請書を本センターの高性能計算機システム委員会にて審査します。応募枠に対する採択基準は下記の通りとします。

① 若手・女性研究者支援萌芽枠

本センターの大規模計算機システムを活用することで今後の発展が期待できる萌芽のテーマであるかどうか / 大規模計算を必要とする課題であるかどうか / 提案計算計画に妥当性があるかどうか / 今後継続的に大規模計算機システムを活用した研究が推進できるかどうか / 研究体制が研究目的遂行の観点から妥当であるかどうか

② 大規模HPC支援枠

本センターの大規模計算機システムを活用することで学術的な意義・インパクトを有する成果導出が見込めるかどうか / 大規模な並列計算を実現できるかどうか / 提案計算計画に妥当性があるかどうか / 研究体制が研究目的遂行の観点から妥当であるかどうか

③ 人工知能研究支援枠

本センターの大規模計算機システムと人工知能技術をあわせて活用することで学術的な意義・インパクトを有する成果導出が見込めるかどうか / 大規模計算を必要とする課題であるかどうか / 提案計算計画に妥当性があるかどうか / 研究体制が研究目的遂行の観点から妥当であるかどうか

④ 世界と伍する学生育成特設枠

研究課題の学術的重要性、妥当性があるか / 研究課題に高い特色、独創性があるか / 課題の遂行に大規模計算機システムが必要かどうか / 大規模計算機システムの利用によって学術的な成果が見込めるかどうか / 研究体制が研究目的遂行の観点から妥当であるかどうか

利用できる大規模計算機システム



① SQUID (16,591 PFLOPS)
2023年4月1日から2024年3月31日までの期間利用することができます。



② OCTOPUS (1,463 PFLOPS)
2023年4月1日から2024年3月31日までの期間利用することができます。

大規模計算機システム 利用負担金
サイバーメディアセンターが全額負担いたします

免除

申込詳細など

大規模計算機システム 公募型利用制度

検索

応募方法及び期間

11月14日(月)~12月16日(金)

課題申請書ダウンロードURL <http://osku.jp/k0242>

課題申請書に必要な事項を記入のうえ、以下の送付先でメールにて送信してください。
課題申請書は、左記URL、もしくは右記QRコードからダウンロードしてください。

- 募集開始: 2022年11月14日(月) ■募集締切: 2022年12月16日(金)(必着)
- 審査結果: 2023年2月中旬に結果を通知予定です。
- 送付先・お問合せ先: 大阪大学情報推進部情報基盤課研究系システム班
大規模計算機システム担当 E-mail: system@cmc.osaka-u.ac.jp

